

令和5年度〔第2四半期〕随意契約の結果（500万円以上の工事、物品、委託）

文化スポーツ部

(注)※1、※2の説明

表頭欄の「根拠法令」(※1)は、随意契約ができる場合について規定している地方自治法施行令第167条の2第1項の1号から9号のうち該当する号を記入し、2号の場合(性質又は目的が競争入札に適しないもの)については、「適用類型」(※2)に厳格な運用を図るために県が作成した7類型のうち該当するものを記入しています。

契約担当組織 の名称	事業名	契約内容	契約期間(履行期間) (物品購入契約(単価契約を除く)は契約締結 日)	契約の相手方	契約金額(円)	随意契約とした具体的理由等	根拠 法令 ※1	適用 類型 ※2
文化芸術振興課	令和5年度文化施設整備事業委託(その1)	令和5年度文化産業交流会館施設整備業務(舞台音響設備改修)	令和5年7月21日 ~ 令和6年3月31日	公益財団法人びわ湖芸術文化財団	51,700,000	文化産業交流会館の舞台音響設備については、運用を行う当該財団が独自の音響調整卓盤のプログラミング構成等を行った複雑なネットワークシステムや電気系統のもと、デジタル制御にて稼働されており、実際の運用に即して当該財団が設計等を行う必要がある。 また、当該設備の更新作業にあたっては、施設を休館することなく貸館等の施設管理を並行して行わなければならない、緊急の際は、貸館や指定管理者の主催公演等との調整を迅速に行う必要があり、施設運営面および施設設備面の両方を熟知し、かつ対応を迅速に行える者は当該財団の他にいないため。	2	3イ
文化芸術振興課	令和5年度滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大規模改修実施設計業務委託	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール改修実施設計業務	令和5年8月10日 ~ 令和6年8月8日	株式会社佐藤総合計画 関西オフィス	184,041,000	特定天井の耐震化や、芸術劇場としての音響性能等の高度な技術的判断を必要とする設計業務のため、競争入札に適しないことから、プロポーザル方式により契約の相手方を選定したため。 ※債務負担行為を含む契約	2	4
文化財保護課	デジタル技術を活用した「幻の安土城」見える化実施設計業務委託	デジタル技術を活用した「幻の安土城」見える化実施設計業務	令和5年8月23日 ~ 令和6年3月28日	株式会社ジーン	6,435,000	本業務は最新のデジタル技術により安土城の復元を行うために、アプリ制作に係る実施設計を行うものである。業務には、専門的な知識・技術・企画力・ノウハウが求められるため競争入札に適しないことから、プロポーザル方式により契約の相手方を選定したため。	2	4